※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	食文化	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	2024　最新　生活ハンドブック　資料&成分表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習活動を通して、食文化の伝承と創造を担う職業人としての必要な資質・能力を育成することをめざします。
・栄養、食品、献立、ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄなどに関する知識と技術を身につけます。
・食生活を総合的にﾃﾞｻﾞｲﾝする能力を身につけます。
・調理実習を通して食品の知識と技術を習得します。
・食事のﾏﾅｰに配慮した食生活、食育と環境を意識した学習、知識を身につけます。
・日本の行事食や郷土料理を学び実践実習をとおして基本的な知識と技術を身につけます。
　さらに、世界の食文化とも関連させて実践実習を行います。

2　学習の到達目標

家庭や地域の生活を創造する資質と能力を育成することを目指す。
・食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する基本的な知識と基礎的な技術を身につけている。
・わが国の行事食や郷土料理、食文化を学び、食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として創造的に解決する力を養う。
・食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	食生活で必要とする基礎的・基本的な知識を身につけ、食生活全般に関するさまざまな活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用できる。さらに社会全般の社会的な意義や役割を理解している。	食生活において直面する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、食生活全般に関わることに対して適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	日本内外の食文化を取り巻く諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組むとともに、積極的、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	食文化の成り立ち	日本の食文化の形成要因 ①食文化の形成 ②地理的要因 ③社会的要因	a:気候・風土に育まれた食材を得て、調理し、それを共に食べることの営みの積み重ねが食文化を形成する要因であることを理解する。 b:気候・風土や地理的な条件によってどのような食文化が形成されたのか考察する。宗教・民族・習慣などさまざまな社会的要因によってどのような食文化が形成されたのか考え考察することができる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	
	日本の食文化	①食生活の変遷 ②日常食・行事食・郷土料理 ③料理様式の発展	a:日本の食生活の変遷について、各時代の特徴について理解する。各時代の文化的な側面についての理解を深める。 b:日常の食事と地域に伝わる行事食や郷土料理について、食材、調理、食べ方などの食事のﾏﾅｰの理解を深め、調理することで実践的な技能を習得することができる。 c:食事の作法、食器やしつらえ、祭りとの関わり、歴史的な背景などを理解した上で食卓作法などを実践し身につける。 調理実習をとおして日本の伝統食を実践し、現代の食生活と融合させようとしている。 食生活の伝承を学ぶことにより「おもてなし」の心を育もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 レポート	ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ 調理実習

※令和４年度以降入学生用

	世界の食文化	世界の食文化の形成要因 ①世界の料理の特徴と文化 ②食生活のグローバル化	a:世界の食文化、食材、郷土料理食事のﾏﾅｰについての知識を深め、その料理の特徴を理解している。 b:地域ごとの食生活についての関わりを理解し、個人や地域はどのようなつながりがあるのかを考えて考察する。 c:献立作成、調理実習を通して世界各国の食事を体験し実践しようとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査 レポート	グループ学習 調理実習
	これからの食生活	①食文化の伝承と創造 ②食文化と食育	a:自然の尊重が土台となっている和食について食文化の理解を深める。おもてなしの心を養い、郷土料理を意識した献立作成、調理実習を実践する。 c:現代の食生活を見直すために、食育の大切さを再認識し、地域ごとの食育の取り組みを考察し、問題点を見いだし、解決策を構想し課題を解決しようとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ 調理実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度